

イネカメムシに注意

適期防除を実施しましょう！



各地でイネカメムシのほ場への飛び込みが始まっています。不稔や斑点米の発生を防ぐために、出穂期～登熟初中期の2回の薬剤散布が有効です。適期防除を実施しましょう。

イネカメムシの生育過程



薬剤散布時期

品種	4月		5月		6月			7月			8月			9月
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
コシヒカリ	田植													
彩のきずな			田植											
彩のかがやき			田植											

1回目防除

出穂期～穂揃期の防除 （不稔の防止）

2回目防除

登熟初中期の防除 （斑点米の防止）



穂揃期までに必ず薬剤散布を行います。
粒剤では散布を数日早めます。

防除のタイミング

ほ場全体の茎のうち約4割～8割が出穂した頃



出穂期の8～14日後に薬剤散布を行います。
粒剤では散布を数日早めます。

防除のタイミング

穂が上部から傾き始めた頃

イネカメムシが大量に発生している場合は、使用回数に注意して上記以外の時期にも薬剤散布を行います。

使用可能な薬剤例

（令和7年6月25日時点の登録情報）

農薬はラベルに記載の適用作物、使用時期、使用方法等を十分確認の上、最終有効期限までに使用しましょう。



商品名（有効成分）	IRAC	散布方法	倍数・散布量	使用回数・時期
キラップフロアブル （エチプロール）	2B	散布	1,000～2,000倍	収穫14日前まで 2回以内
		無人航空機による散布	8～16倍	
スタークル液剤10 （ジノテフラン）	4A	散布	1,000倍	収穫7日前まで 3回以内*
		無人航空機による散布	8倍	
エクシードフロアブル （スルホキサフロル）	4C	散布	2,000倍	収穫7日前まで 3回以内
		無人航空機による散布	16倍	
スタークル1キロH粒剤 （ジノテフラン）	4A	散布	1kg/10a	収穫7日前まで 3回以内*
		無人航空機による散布		

*「スタークル液剤10」及び「スタークル1キロH粒剤」の総使用回数はそれぞれ3回以内だが、有効成分（ジノテフラン）の総使用回数は4回以内であるため、使用回数に注意する。

周辺に住宅地等がある場合は、薬剤散布の前に散布時期、場所、農薬名等を周知しましょう

イネカメムシに関する相談は、お近くの県農林振興センターまたは発行元に御連絡ください。連絡先はコチラから→

